

# きんかた

美しい笑顔がほんのり自然に

広報

平成16年  
[ 2004 ]

1

586



「花のワゴン」 池田修三

2004年

迎春

# 新年のあいさつ



象潟町長  
金 巖

## 「優しさと誇り」を掲げて

明けましておめでとございます。町民の皆様はじめ町内の各商店、企業、団体のご健勝とご発展を心からお祈りいたします。今年、象潟町は、最も身近な選挙が立て続けに行われる年です。三月に任期の切れる議会議員選挙、六月に任期の切れる町長選挙の二つです。七月にはさらに参議院の通常選挙も予定されています。当然のことですが選挙は有権者の意識と主張の反映です。昨年行われた衆議院の選挙ではマニフェスト（政権公約）という聞き慣れない言葉が氾濫しました。町議員の選挙や町長選挙ではピンときませんが、町の抱える具体的な問題について有権者が候補者の考えを聞くというような試みがあつてよいかも知れません。従来のように名前を連呼して町中を回る選挙運動はもう卒業

## 新たな希望の年に

新年あけましておめでとございます。みなさま方には、よいお正月を迎えられたこととおよろこび申し上げます。長い不況が続いておりますが今年こそ、ぜひ明るい年で一尺の幸多い年でありますよう期待するものであります。また、みなさま方からは私ども議会に対してはいつもご支援、ご指導を賜わり心よりお礼申し上げます。さて、昨年はわが町にとりまして、激動の年でありました。いわゆる「平成の大合併」問題であります。平成十四年七月、象潟、仁賀保、金浦は、全県に先駆けて法定協を立ち上げて以来、順風満帆に見えた協議も、昨年



象潟町会議長  
土井 一 美

業の時期に来ているように考えます。象潟町発展の将来像についてどんな考えを持っているのか。町の児童あるいは高齢者福祉をどう推進するのか。農業、商業、観光も大事です。伝承芸能の発展策、情操教育の充実策についてはどうか。それらを聞ければ有権者は町と候補者に一層の親近感を持つのではないのでしょうか。

時代は明らかに変わり目に差しかかっています。日本の政治構造、経済運営、そして国際関係はこれまでとは違う状況に直面しております。国が厳しさと品格を求められているのなら、地方自治体も自ら抱える問題に真つ正面から取り組む必要があるでしょう。漫然と国や県の言いなりに従つていくのではなく町も凛（りん）とした姿勢を打ち出したいものです。町民同士がいたわりあいの気持ちがあるならば、象潟町は「優しさと誇り」を掲げて邁進する時だと思えます。

昨年の十一月、町の「旅館料理飲食業防犯組合」の総会に出席する機会がありました。懇談する中で、象潟の特徴を出すため「一品」の運動はどうだろうかという意見が出ました。従来のメニューのほかに各店がそれぞれ旬の食材を工夫した名物・一品を提供したほうが客を呼べるのではないかと。客に喜ばれるのではないかと。という発想です。なにも食べ物に限定する必要はありません。モノを作る仕事だつたらどんな品物でもよいわけです。オレのところは一品でなく、たくさんできるといふ方は、全部で頑張ればよいと思えます。どこに行つても同じ、という金太郎飴のやり方はもう通用しない時代でしょう。町もそうです。お互い魅力を作り出して客や町民に提供する時です。今年はその突破口を開く年にしたい、と念願しております。

八月、第十五回協議会においての市庁の位置について以来暗礁に乗り上げてしまいました。以後、象潟町は、アンケート調査を行った結果、「単独立町」を目指して、現在「町づくり計画」「財政計画」を樹てているところであります。

合併するも、しないも、要は「住むに値する町づくり」であり、私たち一人ひとりが「この町に住んで良かった」と思うことのできる町づくりであります。幸い本年は三月に町議会議員選挙、六月に任期が切れる町長選挙と、最も身近な二つの選挙の年であります。どちらの選挙においても「新しい町づくり」が争点になることは必定です。

国の財政難とも相まって「行財政改革」はいや応なく地方自治体にも厳しい対応を迫つて参ります。かつて無い「町の存亡」をかけた選挙となるものと思えます。

言いかえすならば、町民参加の「町づくり運動」であります。新たな希望に向けた年になるよう期待するところ大であります。ところで、昨年誕生した赤ちゃんの名前で一番人気が大輝君であつたと、ある生命保険会社の調査結果が発表されました。

いっこうに明るさの見えないわが国の経済情勢に対する若い親たちの切なる願いの現われであるうと複雑な思いにかられたのであります。

わが町も依然として厳しい情勢にあります。が、必ずや近い将来「大いに輝く」町を実現すべく、平成十六年新春にあたり、意を新たにしているところであります。

みなさま方には、この一年、ご健勝でお過ごしになりますようお祈りし、新春のごあいさつといたします。

# 町民が積極的に参加する 「町づくり」を目指す

町議会2月定例会は12月15日に招集され、19日までの5日間の会期で開かれました。上程された議案は、教育委員会委員の任命について、特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について、15年度一般会計補正予算など合わせて10件です。いずれも原案のとおりそれぞれ可決されました。



「町民アンケートの結果を踏まえ、記者会見で「単独立町」を表明した町長（10月14日）

## 町政報告

合併協議会は、新市の名称や市役所本庁舎の位置を決定しましたが、この決定について、多くの町民から「象潟町の持つ特性や魅力などが、まったく反映されていない。互譲の精神が感じられない」などの不平・不満が、多数寄せられたため、合併協議会への出席を見合わせることにしました。

その後、合併協議の経過など町民に説明するとともに、改めて町民の意思確認をするため、10月1日現在の有権者

1万509人を対象に、アンケート調査を実施しました。アンケート調査は、町民の関心が高く、有権者の約95・6%にあたる1万43人の町民が回答されました。このうち、有効数9,315人の約67・7%にあたる、6,310人の町民が「単独立町」を選択しております。

この調査結果は、これまでの合併協議会に対する不信や、わだかまりの残る合併を進めても、その効果が期待できないという意思表示である、と考えます。行政を運営する責任者として、この結果を重く受け止めております。

このような状況を踏まえ、10月14日、仁賀保町・金浦町の両町長に対して、「合併協議会から離脱する」ことを伝えました。

町民と行政との協働体制をさらに強化しながら「ゆつたり・ゆつくり・心を豊かに」を合言葉に、町民が積極的に参加する「町づくり」「ふるさとづくり」を進めてまいります。

今後の行政運営の指針となる「町づくり計画」と「財政計画」については、現在、最終的な調整を行っております。県側との調整がつけば、来年度以降10年間の「財政計画」などを、議会と町民の皆さんに説明し、ご理解を得たいと考えております。

### 稲作被害農家へ 利子補給で支援

今年の稲作は、異常気象の影響を受けて全国的に不作となりました。県内においても、低温と日照不足が続いたため、不稔障害や登熟不良が発

人乗り用エレベーターの設置正面玄関の自動ドア化、入り口スロープの拡幅、公民館、役場庁舎および保健センターの身障者用駐車場整備などです。

ので、町民の皆さんのご協力をお願いします。

### 中学校修学旅行 2年生を対象に実施

本年度から中学生の修学旅行を2年生で行います。

従来は、3年生になった直後の4、5月に実施しておりましたが、時期的に時間の余裕がなく、計画準備に大きな支障がありました。

このため、2年生の段階で修学旅行を、総合的な学習時間の体験の場として、教育的効果をあげたいとの考えから、本年度から実施します。

### 公民館などの バリアフリー化完了

公民館などのバリアフリー化改修工事は、10月14日に完了しました。今回の改修内容は、公民館玄関ホールに、9



公民館に設置されたエレベーター

## 可決された主な議案

教育委員会委員の任命について



教育委員会の委員に、中村正明さん（大町・62歳）が任命されました。特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

地方税法の一部改正に伴い、町特別土地保有税審議会条例を廃止したことにより、条例別表中から特別土地保有税審議会委員に係る部分を削除するものです。象潟町納税協力員の設置等に関する条例を廃止する条例制定

税を取り巻く環境や住

民の意識も大きく変化していることから、納税協力員制度は初期の目的を達成したものと判断し、条例を廃止することとしました。施行は平成16年4月1日からです。

象潟町町営住宅条例の一部を改正する条例制定  
今年8月に上狐森町営住宅の解体を完了したもので、これに係る部分を条例中から削除します。

町道路線の廃止について  
上狐森町営住宅の解体に伴い、敷地内にある町道を廃止するものです。  
平成15年度象潟町一般会計補正予算

既定の予算額に歳入歳出それぞれ2,096万9千円を追加し、予算総額を50億8,371万4千円とするものです。

生し、そのため品質の低下と収穫量が大幅に減収し、作物は「不良」でした。被害を受けた農業者に対しては、「農業災害対策資金」の貸し付けにかかる利子補給など、農家支援を進めてまいります。

本町の米の品質については、一等米が98・2%で、前年の90・2%を大きく上回っております。これまでの土づくり対策を進めてきた成果であるとと考えております。

15年度の生産調整ですが、農家の皆さんからのご協力と地域間の調整により、目標を達成することができました。16年度の実績調整は、これまでの「作付けしない面積」の配分から、「生産目標数量」の配分方式に変わります。秋田県には、11月28日に農水省から配分されております。各農家への数量配分は、水田農業推進協議会に諮り、年明けに予定しております。

### 除雪作業 委託業者5社で対応

町道除雪作業は、作業関係者との打ち合わせを行い、11月28日付けで、委託契約を締結しております。来年3月までの期間、委託業者5社の体制で、除雪作業を実施します

# プレイバック2003

「SARS猛威」「イラク戦争、フセイン政権崩壊」「阪神タイガース、18年ぶりリーグ優勝」「長崎男児殺人事件」「松井、メジャーで活躍」など、2003年も明るい話題から暗いニュースまでいろいろありました。

本町ではどんな1年だったでしょうか。広報をもとに主な出来事をピックアップしました。

- 2月7日 第1回地産地消会開催
- 2月21日 東京都台東区から自転車100台を譲り受け、観光の足に
- 3月10日 大須郷地区の風力発電、運転開始
- 4月1日 「松くい虫から町をまもる条例」制定
- 4月2日 「サン・ねむの木」民間委託に
- 4月8日 仁賀保高校・情報メディア科がスタート
- 4月13日 県議会議員一般選挙投票日。本町の渋谷正敏氏（上浜の町）が初当選
- 4月15日～17日 米国・アナコーテス市から教育訪問団来町
- 5月26日 「三陸南地震」でガスの供給がストップ。
- 6月14日 「北部航空音楽隊演奏会」開催
- 7月17日 朗読劇「この子たち」の夏公演
- 7月20日 姉妹地・浅草に芭蕉の句碑建立



- 7月21日～27日 村上順平君（山形電波工業高校3年・桜ヶ丘）が自転車ロードレースの世界大会に出場
- 7月31日～8月9日 中学生16人と引率者4人が、米・アナコーテス市を訪問
- 8月5日 誘致企業「マミヤ精密」が北部工業団地に進出
- 9月25日 町宣伝大使・バリトン歌手の山本健二氏が象潟中学校で独唱会を開催
- 9月26日 第1回「おくのほそ道」朗読コンテスト象潟大会を開催。本荘市由利郡・山形県の中高校生35人が参加



- 10月1日 町村合併アンケート実施
- 10月14日 仁賀保町・金浦町の両町長に「合併協議会からの離脱を表明

- 10月24日 米国・アナコーテス市の木・ウエスタンレッドシダーを友好と平和の象徴として植樹



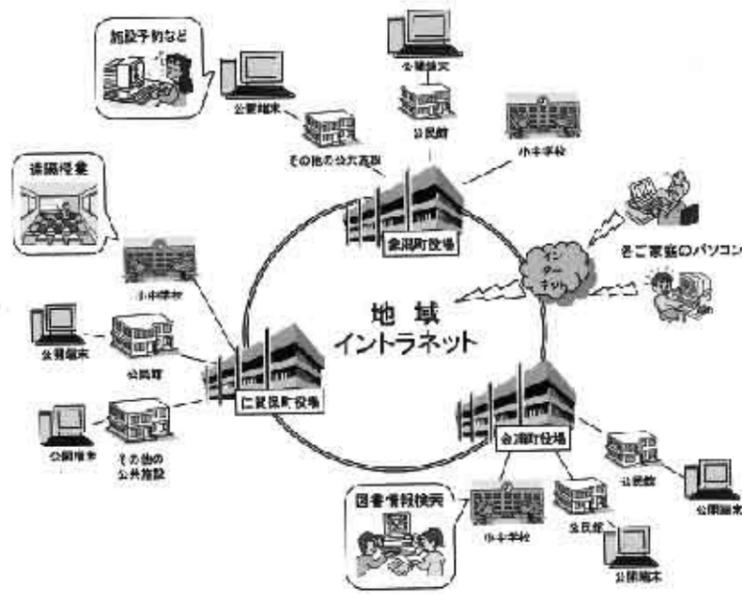
- 10月25日 町国際交流協会設立10周年記念式典を開催
- 10月28日（30日）～11月3日 2班集体で中国・諸暨市を訪問。町民を中心に59人が訪中し友好を深める
- 11月16日 東京・台東区民会館を会場に、第15回ふるさと象潟のつどい開催。首都圏在住者や町関係者など約200人が参加



1月15日から

## 地域イントラネット運用開始!

このほど、象潟町、金浦町、仁賀保町の各役場と3町の公共施設（公民館、学校等）を光ファイバーケーブル網で結び、高速の情報通信ネットワーク（地域イントラネット）が整備されました。3町が合同で運営するホームページも設けられ、1月15日からの公開を予定しています。



ネットワークを上手に使いこなすことに活用

新しいホームページでは、3町の行政サービスや諸制度、窓口手続きの紹介など、地域の皆さんに身近な行政情報や観光情報を提供するほか、次のようなサービスもご利用いただけます。

- 公共施設空き状況確認
- 「来週の日曜日、町の会議室を利用したいけど、空いているかな?」
- そんなとき、パソコンで3町公共施設の空き状況を確認することができます。
- 申請書ダウンロード
- 「家族の所得証明書を代理請求するのに『委任状』の用紙がほしい」「住民票を郵送してほしい...」そんなときホームページ上から委任状や郵便請求用の申請書用紙等を入力することができます。



ホームページアドレス <http://www.nkktown.jp>

行政相談 「こんなとき、どうするの?」「こんなことを教えてほしい...」役場への質問や相談に対し、担当課から電子メールで回答します。

過去に多く寄せられた質問については「Q&A」形式で回答を公開しているので、まずはそちらをチェックしてみましょう。

役場や公共施設に公開パソコンを設置

このホームページはインターネット上に公開するので、ご家庭のパソコンからもアクセスが可能です。役場や公共施設の窓口が閉まっている時間でも上記のサービスを利用することができます。

### 公開パソコン設置場所

- 象潟町役場 / 公民館 / 保健センター
- 町民体育館 / 郷土資料館 / 公会堂
- B & G海洋センター / 老人福祉センター
- 都市農村交流センター / 上郷生活改善センター
- サンねむの木 / ねむの丘 / 鶴泉荘

そのほか、金浦町・仁賀保町の公共施設に設置のパソコンも利用できます。

また、新たに3町の公共施設など合計31カ所に設置された公開パソコンもご利用いただけます。ご家庭にパソコンが無い方でも、役場や公民館などにあるパソコンを自由に利用して、行政情報や観光情報を検索したり、公共施設の空き状況を確認することができます。

公共施設等に設置されたパソコンは、ペン型の機器を使って画面にタッチして操作するタイプですので、パソコンに不慣れな方でも比較的簡単に操作ができます。ぜひ気軽にご利用ください。

## 象潟町 町民写真集を販売しています

2回目となる「象潟町 町民写真集」を12月15日に、各地区行政協力員を通じて、各町内世帯に配布いたしました。

希望される方には、販売（1冊2,000円/税込）もいたしますが、象潟町民および象潟町出身者に限らせていただきます。残部はわずかですので、希望する方はお早めにお求めください。

問い合わせ・販売先 企画課広報係（43 7510）



1月

3日生 小田嶋虹未(下荒屋) 「虹のように大きく、光り輝く未来が待っているように」

30日生 小助川和也(31区) 「姉弟仲良く、思いやりのある子に」

2日生 高森陽生(浜畑) 「太陽のように力強く」

5日生 佐々木胡桃(大町) 「自分の考えを強くしつかり持ち、ときには柔軟に対応できる人になるように」

27日生 吉川慶(小滝) 「人の気持ちをわかれる優しい子に」

2日生 明平佑大(臨海) 「兄弟仲良く、助け合って大きく成長してほしい」

8日生 齋藤海磨(砂山) 「海のように広い心で、心身ともに磨き大きな人間に」

19日生 藤谷明博(鳥の海1区) 「周りにも明るさを広げるような人になるように」

2月

16日生 伊藤真陽(32区) 「4つ上のお兄ちゃんが、突然『お腹の子はマヒロ』と教えてくれました」

7日生 加藤富大(小砂川1区) 「雄大な鳥海山が広がる富んだ土地に生まれて」

20日生 市原楓花(鳥の海1区) 「明るく元気に」

28日生 菅原瑞希(大須郷) 「希望を持って明るい子に」

2日生 齋藤拳臣(荒古屋) 「強く元気に、周囲の人を思いやる人になるように」

12日生 高橋彩心(上狐森) 「お姉ちゃんが『あやね』が良いと言いました」

4月

2日生 加藤芽伊(鳥の海1区) 「自分の素敵な花を咲かせ、実をつけてほしい」

7日生 渡邊慎太郎(浜畑) 「石原都知事のような人になつてほしい」

13日生 池田楓(川袋) 「女子らしく、優しい思いやりのある子に」

22日生 佐藤亜子(下浜の町) 「2つ上の子が、お腹をさすりながら『あこ』と言っていました」

15日生 梶原優花(荒古屋) 「花のように素直で優しい子に」

4日生 佐々木怜(中橋町) 「かっこいい子になるように」

15日生 須藤哲平(長岡) 「上の子が付けてくれた名前です」

9日生 佐藤颯哉(大森) 「勇ましく、男らしく育つてほしい」

14日生 佐藤祐太(鳥の海2区) 「元気で男の子らしく」

6月

5日生 佐々木莉奈(中橋町) 「呼びやすく、かわいい名前です」

3日生 佐藤涼馨(武道島1区) 「清らかに成長し、良いこと、名声を周りに広めてほしい」

19日生 須藤好未(長岡) 「みんなに好かれる子になってほしい」

28日生 畑山凛之介(松ヶ丘) 「クラシックな周りに、いい名前です」

30日生 加賀屋涼夏(武道島1区) 「涼やかな夏のように、明るい子に。お姉ちゃんが付けてくれました」

2003年生まれ大集合

2003年に誕生した81人の元気な赤ちゃん(2月23日届け出現在)。初めてのお正月を迎えた赤ちゃんたちのお顔と、ご両親がお子さんの健やかな成長を願って寄せたコメントをご紹介します。昨年生まれた赤ちゃんのご家族すべてに掲載の希望を募り紹介しています。当紙の発行日前後に誕生の場合は、2月号の掲載となりますのでご了承ください。

7月

6日生 池田悠莉(下荒屋) 「心のゆったりした優しい子に」

12日生 近藤美月(水岡) 「満月の2日前の月夜に生まれました。未来が今と変わらず、月が輝く世の中であってほしい」

18日生 田中天汰(下荒屋) 「天のように広く、大きな心の人に」

26日生 川越彩愛(上狐森) 「たくさん愛に彩られるように」

11月

9日生 三浦碧(立石1区) 「やさしく思いやりのある子に」

12日生 佐々木雄稔(水岡) 「鳥海山のように強く、大きく、たくましく育つてほしい」

4日生 櫻山赤穂(大森) 「たくましく育ってほしい」

4日生 鈴木麗菜(立石2区) 「心やさしく、麗しい女性に」

20日生 須藤亜海(鳥の海1区) 「広く大きな心を持った人になるように」

22日生 伊東涼太(小砂川1区) 「さわやかでたくましい人になるように」

9月

2日生 木内勇汰(鳥の海2区) 「思いやりがあって、明るく元気な子に」

18日生 佐々木諒(中橋町) 「誠実で思いやりのある優しい人になるように」

28日生 須藤大徳(大須郷) 「健やかに育ってほしい」

12日生 佐々木陽(下荒屋) 「明るく、元気な子に」

16日生 阿部瑠依(栄町) 「鮮やかに明るく元気な女の子に」

19日生 佐々木尽(中橋町) 「何事もベストを尽くして頑張るように」

8月

5日生 高津舞緒(妙見町) 「優しい子になってほしい」

15日生 新田竜斗(小滝) 「竜のように強く、たくましく育つてほしい」

20日生 今野龍季(大塩越) 「龍のように天高く、どこまでも上を目指す人になってほしい」

26日生 佐藤秀人(33区) 「夢に向かって“シュート”」

14日生 伊藤大河(下荒屋) 「心が広く、強い子に育ってほしい」

10月

17日生 金子晴美(長岡) 「晴れわたった空のような子に育つてほしい」

22日生 森林之介(大町) 「いつも目標を持って生きてほしい。将来はプロ野球選手に」

25日生 佐々木瑛奈(立石1区) 「青い宝石のように、透明で美しく強い心の持ち主になって」

友遊くらぶ

## ケーキづくりにチャレンジ



出来上がったケーキ  
上手にデコレーション  
できるかな



12月20日、友遊くらぶではクリスマスに合わせて、ケーキづくりに挑戦しました。

伊藤至磨子さん(32区)を講師に迎え、参加したのは小学校1年生から6年生まで22人の児童。生地のスポンジを切ることから始め、ホイップした生クリームを丁寧に塗り、サンタのお菓子などを飾り付け。参加した児童は「難しかったけど、思ったより上手くできた」「お家でも作ってみたい」など、できばえに満足そうでした。

上浜子ども郵便局

## 日本郵政公社東北支社長賞を受賞

このほど、上浜小学校の子ども郵便局が日本郵政公社東北支社長賞を受賞し、佐藤共一上浜郵便局長から賞状と副賞が子どもたちに手渡されました。

上浜小学校では、金銭に対する正しい考え方を持ってもらうと、昭和24年から『子ども郵便局』を設立。毎月1回の貯金日に“小さな郵便局員”が集め、貯金活動を行っています。貯金したお金は卒業時に引き出され、中学校入学の準備などにあてているそうです。



代表して賞状を受け取った子ども局員。  
写真左から、加藤麗菜さん、梶原美奈子さん、池田光くん、齋藤卓くん

県道長岡冬師城内線

## 歩道新設工事が完成し通行可能に

上郷小学校PTAが県に陳情し、建設していた県道長岡冬師城内線の歩道新設工事がこのほど完成し、通行可能となりました。

本工事は平成13年12月、上郷小児童が下校時に乗用車にはねられ亡くなったことから、地区のPTA(当時会長・金子英紀さん)らが中心となり、15,058人の署名を集め、寺田県知事に県道への歩道と照明灯の設置を求めたことから実現したものです。

念願の歩道工事が終了し、上郷小学校長の松浦綾子先生は「本当に不幸な事故があり、その際には多くの方々に献血に協力していた



歩道完成を喜ぶ松浦校長

できありがとうございました。歩道設置の実現に向けては、県・町、多くの町民、また県内外の方々から多大な協力を得て署名を頂き、歩道設置の早期実現ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちには、反射シールの着用をしっかりとしてもらい、車を運転する方にも通学路でのスピードには気を付けてもらいたいです。春には現地での下校指導を行い、事故防止に努めます」と工事の完成を喜んでいました。



幅3mの歩道の設置で、安心して通れる道に

# ぼくはげんきツズ

12月17日、ニコニコクラブのクリスマス会で出会った元気いっばいの2人。

去年、広島から引っ越ししてきて、外で遊ぶのが楽しかった。わんぱくなんだよ



白木剣太郎ちゃん  
(3才・湯見町2区)



土井結花子ちゃん  
(3才・小滝)

大きい自転車を補助輪つけて練習しているよ。早く補助輪取れるといいな

訂正とお詫び  
先月号の「げんきツズ」欄で平川潔司ちゃんは平川清司ちゃんの誤りでした。訂正してお詫びします。

## 「夢だった消防士に」

今年4月に専門学校を卒業し、消防本部に勤めている茂木さんです。  
「中学生くらいのころから消防士になるのが夢でした。高校を卒業後、専門の学校に行きました。4月からは岩城町にある消防学校で知識と技術の基本を学んできました。10月から今の仕事に就いたばかりなので、先輩たちを見習い、早く現場で役に立つ消防士を目指して努力してきました。命に関わることなので、気を張って仕事しています」

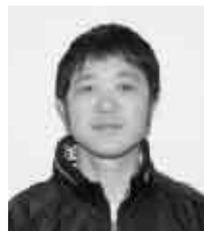
性格は「曲がったことは嫌いなんですが、友達からはぬけているところがあると言われます」  
趣味は「スポーツなどで体を動かすことです。映画、音楽も好きですね」  
休日の過ごし方は「友達と遊ぶか寝ています」  
これからしてみたいことは「東北一周グルメ旅」  
理想の女性のタイプは「自分と趣味が合って、よくしゃべる人です。ちょっとした気づかいのあるやさしい人がいいです」

## ガンバレスポーツ No.9

# 上浜バレーボール スポーツ少年団



団員数 19人  
代表指導者 須藤 金悦(大須郷)  
指導者 渡邊 弘(大砂川)  
" 伊東 善男(小砂川1区)  
" 阿部 正人(中ノ沢)



指導者を代表して渡邊弘さん(写真)にチームを紹介していただきました。

「週3回、明るく・元気に！をモットーに活動しています。バレーボール以外にも親子でのキャンプやレクリエーションをしながら、チームワークづくりをしています。中でも団員が一番楽しみにしていることは、宮城県松島町との交流です。毎年、春に行き、夏に松島を迎えます。日本三景の素晴らしい景色を見て、さらに大好きなバレーボールで交流できるのは最高です。

今は、新チームへの切り替えの時期。6年生はもうすぐ卒業ですが、新チームの練習相手や指導のために、頑張っているところです。いつまでもスポーツ好きな人でいてもらいたいと思います」

## 青春まっただなか vol.10



鳥屋森 茂木 邦彦さん(21歳)  
仁賀保地区消防本部

(有)なるほど舎



コシヒカリを主に、環境にやさしい米づくりと全国各地に自社米の販売をしている有なるほど舎の須田貴志精米販売課長（写真）にお話を伺いました。

こだわりの米づくりをしているようですが。

「無農薬栽培はカモを放したり、肥料も無化学のものを使ったりで、普通の米づくりの4倍は手間がかかります。1年があつという間ですね。でも難儀している分、人にも環境にも安全でうまい米ができるので、本当に楽しく仕事をしています」

年間どのくらいの量を扱っているのでしょうか。

「昨年実績で、約5千袋（30kg/袋）です。今年は思い切つて7千袋を目標にしましたが、全国的に不作だったので、昨年並みになりそうです。協力してくれている生産者（25人）のお陰で、この取扱量になりました。本当に有り難いと思っています。」

創業者	平成10年3月
所在地	字源蔵湯1 26
代表取締役	竹内久一
従業員	6名
事業内容	米の生産・販売

食味、品質に問題のある米はすぐにクレームがつきます。生産する側の意識も高くなり、お客さまに心から喜ばれる米づくりに徹するようになりましたので、自慢できるものとなっています」

これからの米づくりは、「人に安全、そして環境にやさしい」をモットーに時代の要請に合った米づくりをして行けたらと思っています。環境に負荷をかけない生産方法にどんなチャレンジして行きたいです」



出荷を待つ新米  
味が自慢の自社米（コシヒカリ）  
100%・5kg入り

元気でEメール



澤谷 真由美さん・41歳  
（埼玉県草加市在住  
「砂山出身」）

「象潟最高！」

気がつけば、象潟で生まれ育った年月よりも、象潟を離れてからの生活の方が長くなってしまいました。

現在は草加市に夫と子ども（娘と息子）の4人で住んでいます。

子育ての大半をこの草加でやってきたので、子どもはもちろん私もすっかりなじんで仲の良い友人もできました。たいへん便利もよく、近くで何でもそろるので、生活することにおいては住みやすい所だと思っています。

それでも、象潟への帰省は、象潟大好きな娘と息子とともに

毎年楽しみにしています。東に鳥海山、西に日本海。山と海がこんなにも近く、自然に恵まれている環境。自分が住んでいたころは、当たり前と思っていた風景や実家、友達との繋がりが、象潟から遠く離れたいま、とても貴重な存在になりました。

四季折々に野菜などを送ってくれる母。お盆やお正月に帰ってくるのを待っているよと言ってくれる友達。いつも私を温かい気持ちにしてくれます。

東京で会う同級生も私にとつとでも大事な存在で、みんな忙しく働いていますが、年一度くらいは集まります。場所は東京なのに私たちがいる一角は象潟の空間になり、これがまた私のエネルギーになって、毎日頑張れる力をくれるんです。

この文章を書いている横で娘は言いました。「お母さん、象潟最高！この一言でしょ」一本取られました。

ふるさと探八ズ

問題  
写真を見て、タテの太マスをうめてください。ヨコのカギで横マスをうめても、答えがわかります。



	ら	あ		し	く
	さ	か			
	の				
	ま		げ		
		よ			じ

ヨコのカギ

鬼が「らあしく」叫びながら、子どものいる家をまわります。手には「さか」(つくりもの)やオケを持っています。男鹿の「まげ」と同じものと言われています。小滝や石名坂に古くから伝わり、子どもたちの健やかな成長を願い、毎年1月中旬に行われる「よじ」です。

お分かりになった方は、ハガキまたはファクス(43 5707)で、住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、できればメッセージを添えて、〒018 0192 象潟町役場広報クイズ係まで。締め切りは1月19日(月)の消印まで有効。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をプレゼントします。発表は2月号の紙上で。先月の当選者は次の5人の方です。(敬称略)

伊藤修一(大町)、齋藤美代子(大町)、佐々木藤一(横町)、佐々木恵子(はまなす)、佐藤カツ子(本郷)

先月号の答え

		き			
		さ			
		か			
		た			
		ず			
		び	じ	ゆ	つ
ほ	ん	じ	よ	う	
し	り	よ	う	か	ん
		ぶ	ん	か	ざ
				い	



ケニ一の見聞録

ケネス・リーさん  
C I R (国際交流員)

2004年の抱負...象潟町での生活を  
エンジョイする

僕が寒がりになったわけ

象潟町に住んでもう3年目になったけど、今年の冬はととても寒く感じる。寒いことに苦手になったのかな?

僕はアメリカの東海岸、ニューヨークの隣にあるニュージャージー州出身。そこでは秋田と同様に雪が降るし、寒いところだけど、家の壁が厚いので、家の中は暖かい。でも日本では、ほとんどの家の壁が薄く、寒さも風も家の中に入ってきます。今年はしばらくストーブを使わず、こたつやゆたんぼだけでがまんしていたけど、最近あきらめて、ストーブも使い始めました。

どうして今年の冬、急に寒がりになったんだろう?もしかしたら夏と関係あるのかもかもしれない。僕はずっと前から、夏や暑さに弱かったので、去年の夏は涼しくてうれしかった。でも気温以外は、夏は大好きだ。特にこの町に来てから、海のことが本当に気に入ってきた。ところが今年は涼しく、海で泳げなかったし、日光浴もできなくて残念だった。

それで、心の中にまだ夏を待っているのかもかもしれない。冬の準備ができていない感じだと思う。鳥海山でスノーボードもするけど、まだ海にボディボードしたい気持ちが残っている(去年は1回もできなかった!)。勇気がある誰か、これから冷たい海と一緒にボディボードをしませんか?

旬のものでつくる  
魚菜逸品

食生活改善推進協議会のメンバーの方が、地場産の旬の食材を使ってつくった料理を紹介します。今月の旬のものは『タラ』

冬が旬のタラは、味が淡泊なので鍋料理からフライと広範囲に利用できます。あっさりとしているので、食欲のない人や低エネルギーの料理に最適です



タラと豆腐のすり身入り八宝

鳥ノ海1区 渡邊 リ工さん  
鳥ノ海2区 奥山 里子さん  
鳥ノ海1区 須藤 容子さん

材料(4人分)

タラ	1切れ	かぼちゃ	100g
木綿豆腐	1/2丁	ごぼう	50g
卵	1個	さやいんげん	5本
人参	1/2本	みりん	大さじ3
生しいたけ	3個	酒	大さじ2
玉ねぎ	1個	砂糖	大さじ3
イカ	1/2ばい	塩	少々

作り方

フードカッターにタラ・豆腐・卵を入れて、すり身にする。人参・生しいたけ・玉ねぎ・イカ・かぼちゃ・ごぼうは大きさを揃えて細かく切る。

さやいんげんはゆでて、長さを揃えて切る。

ポウルに ~ ・みりん・酒・砂糖・塩を入れてよく混ぜ合わせる。

器に を流し込み、蒸し器で20分くらい、火が通るまで蒸す。

仕上げに、好みであんをかける。

バター焼きにしたり、ケチャップをかけたたり、お好み焼き風にしてもおいしく召し上がれます。

写真を差し上げます
本紙に掲載した、本人・家族の写真を希望する方にプリントして差し上げます。ご希望の方は企画課広報係までご連絡ください。

慶弔 11月16日～12月15日 届け出分

広報に掲載してほしくない方は、届け出のときに住民係へお申し出ください。

門出

- 金子将志(はまなす)
木内加奈子(本荘市)
伊東孝之(大谷地)
村井美帆(本荘市)
佐々木一彦(下荒屋)
澤田治香(男鹿市)
櫻庭郷(川袋)
工藤ゆかり(本荘市)
齋藤一樹(長滝)
齋藤玲(小滝)
佐々木信(横町)
伊藤佳代子(秋田市)

うぶ声

- 佐々木雄稔(水岡)
佐々木陽(下荒屋)
三浦碧(立石1区)
渡邊龍騎(浜畑)
阿部瑠依(栄町)
佐々木尽(中橋町)
佐々木瑛奈(立石1区)
佐々木理歩(小滝)

訂正とお詫び

先月号の「うぶ声」欄で森琳之助ちゃんは森琳之介ちゃんの誤りでした。訂正してお詫びします。

おくやみ

- 佐々木兼代(99歳)下浜の町
金藤勝弥(77歳)大須郷
須藤平次郎(88歳)関
伊藤淳宏(81歳)小滝
吉川幸子(87歳)下荒屋
須藤秀作(76歳)石名坂
佐藤カヨ(88歳)下浜の町
今野建(77歳)大飯郷
森勝子(86歳)大森
齋藤一男(74歳)大森
大友春雄(84歳)小砂川2区
小田原カヨ(74歳)上新町

人口・世帯の動き

平成15年11月末現在
世帯数 4,096 (+3) + 15
人口 13,112人 (+4) - 28
男 6,292人 (-5) - 12
女 6,820人 (+9) - 16
( )内は前月比、内は前年同月比
転入...25人(305) 出生...6人(81)
転出...13人(277) 死亡...14人(136)
( )は1月からの累計

1月の在宅当番医

4日・池田医院(43 3106)
11日・象潟駅前皮フ科(43 5252)
12日・金病院(43 5522)
18日・木村医院(43 3308)
25日・伊藤医院(43 4171)
2月1日・神坂医院(43 3108)
診察時間は午前10時～正午、午後1時～3時です。町医師会
変更の場合の問い合わせは、役場か消防署(38-2310)へ。

1月のこよみ

Table with 2 columns: Date, Event. Includes events like '役場仕事始め', '消防出初式', '小学生新春書き初め会', etc.

象潟町民体育館の電話番号が1月20日から変わります。
新電話番号 0184 33 8855
FAX番号(2月1日から) 0184 33 8856

合同就職面談会を開催
対象 平成16年、17年3月に大学、短大、高専、専修学校等を卒業予定の学生
日時 1月22日(木) 午後1時～5時
場所 秋田ビューホテル
問い合わせ先 県産業経済労働部雇用対策室 若年者支援班(018 860 3833)

問い合わせ先: 役場 43 3200, 郷土資料館 43 2005, 公民館 43 2229, B & G 43 6490, 保健センター 43 7501

町職員の採用試験を実施します

試験区分 一般行政職
採用予定人数 若干名
受験資格 昭和58年4月2日から同61年4月1日までに生まれた人で、採用された後は象潟町に居住が可能な人
第1次試験 高校卒業程度の一般的知識および知能についての筆記試験
第2次試験 口述、作文、適性、身体検査(1次合格者に対してのみ実施)
試験日・場所 [第1次試験]平成16年2月1日(日)象潟町役場2階大会議室 [第2次試験]第1次試験合格者に通知
申し込み手続き 申込用紙を役場総務課行政係に直接請求(代理人も可)、または郵便で請求(封筒の表に「職員採用試験申し込み用紙請求」と朱書きし、あて先を明記して120円切手をはった返信用封筒「A

4封筒」を必ず同封すること)し、必要事項を記入したら同課に直接持参するか、郵便による場合は封筒の表面に「職員採用試験申し込み」と朱書きしてください。
受付期間 1月5日～19日(土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時)。郵送の場合、19日午後5時まで到着のものに限ります。
合格発表 第1次試験の合格者は2月中旬、最終合格者は2月下旬までに役場前の掲示場に掲示するほか、合格者に通知します。
問い合わせ 象潟町役場総務課行政係(43 7507)まで

1日スキー教室参加者募集

日時 1月17日(土) 午前10時～午後3時
場所 町営スキー場
対象 小学校3年生～一般
保険料 200円
講師 町スキー連盟指導者

年末年始の在宅当番医

Table with 3 columns: Date, Time, Hospital. Shows on-call doctors for Dec 31 and Jan 1-3.

象潟都市計画区域マスタープラン(案)を縦覧します

県では、象潟都市計画区域マスタープランの都市計画案を、1月16日(金)から30日(金)まで、下記の場所で縦覧します。
また、この期間中に、都市計画案について意見のある場合は、知事に意見書を提出することができます。
縦覧場所 象潟町役場建設課 県都市計画課 県由利地域振興局建設部
問い合わせ先 象潟町建設課(43 7509)

役場人事異動(12月26日付)
仁賀保町・金浦町・象潟町合併協議会事務局勤務を解く
【企画課】 課長待遇 大場 久
【農林水産課】 佐々木 俊哉
【社会教育課】 齋藤 邦
【社会教育係主任】 齋藤 邦

その他 送迎バスあり。リフト券昼食は各自
申し込み・問い合わせ先 1月14日(水)まで保険料を添えて、役場3階体育館事務室(43 3200内線303)へ

おいしく食べて骨を元気にする教室

10代前半は、一生のうちでも骨をつくる、とても大切な時期です。自分の骨の状態を確認し、骨を丈夫にするコツを身につけてみませんか。
期日 1月24日(土)
時間 午前9時～午後1時
内容 骨密度測定、結果説明、調理実習
場所 町保健センター
対象 1・2年生の女子中学生とその母親
詳細については、学校から配布される通知をご覧ください。

禁煙教室に参加しませんか

タバコをやめたいと思いながらもなかなかやめられない人はいませんか?無理なく簡単に禁煙できるコツを勉強しましょう。
期日 1月15日(木)
時間 午後1時30分～3時
場所 町保健センター
申し込み先 1月9日(金)まで、福祉課保健係へ(定員20人になり次第締め切ります)

短歌会 潮騒句会
漁終へしはたはた船等冬の日の
青潮うねる海帰り来る
つつましく慣習守りぬ年越膳
職決まりたる孫を囲みて
利便性足れる時代に育つ児等
表情とほしく生気も見えず
靖国神社の暦もらひてひとしほに
戦後を偲ぶ師走の夕暮れ
吾も梅植う喜寿の記念に
佐藤三郎

# 町民新春ギャラリー



絵画「孤灯」  
須藤哲平（鐵勇）〈大須郷〉



書道「王陽明 山中示諸生」  
池田江春（優子）〈冠石〉



友禅染「帯とタバストリー」  
本間マル子〈上浜の町〉



陶芸「黒泥麻の葉象嵌偏壺」  
熊木昭夫〈大須郷〉



写真「稀倉東壁パノラマ」  
伊藤英逸〈湯見町2区〉